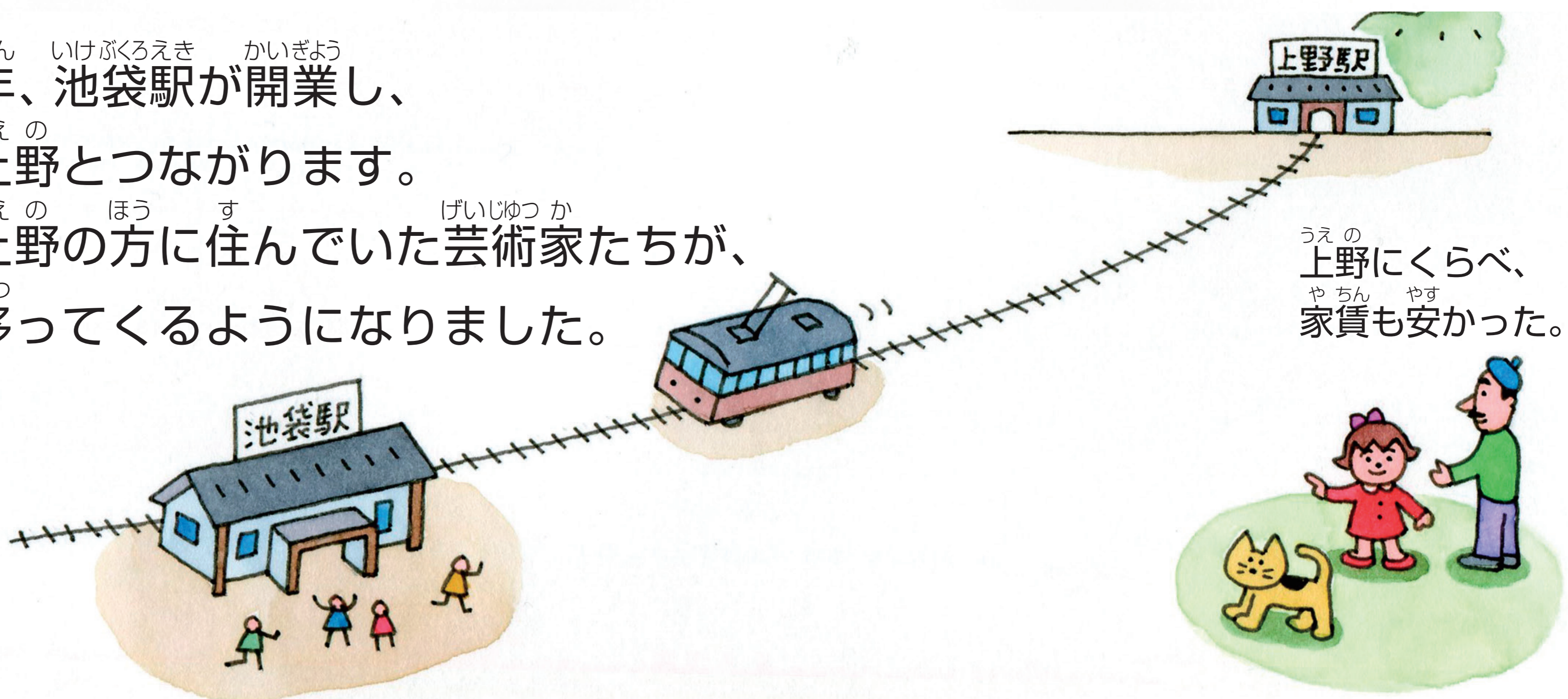


# ねんまえ いけぶくろ 100年前の池袋

ねんまえ いけぶくろしゅうへん やばたがわ つるまきがわ  
100年ほど前の池袋周辺は、谷端川、弦巻川、  
せんかわじょうすい おお おがわ なが のうそん  
千川上水など、多くの小川が流れる農村でした。



ねん いけぶくろえき かいぎょう  
1903年、池袋駅が開業し、  
せんろ うえの  
線路で上野とつながります。  
うえの ほうす げいじゆつか  
すると上野の方に住んでいた芸術家たちが、  
いけぶくろ うつ  
池袋に移ってくるようになりました。



いけぶくろ ひろ とち ひろ  
池袋には、広い土地が広がっていたので  
がっこう かいこう いてん  
いくつもの学校が、開校したり移転しました。  
いけぶくろ ふうけい すこ か  
池袋の風景は、少しずつ変わっていきました。

じゆう びやうとう りねん かか がっこう いけぶくろ  
自由や平等を理念に掲げる学校が池袋にやってきて、  
あたらし じだい いぶき ぶ こ  
新しい時代の息吹を吹き込んだのだ。

